



2026(令和8)年 1月13日(火)例会(第2964回)報告(晴) No.2792

出席率 …… 35/46 76.09% 第2962回補正出席率 …… 42/46 91.30%

欠席者 安藤、川田、小坂、佐藤、島谷、高橋、友森、中村、松井、三村、村山

出席免除 足立、増谷、渡辺(昇)

◆会長時間 山崎慎也 会長

先週の地震では全体的な被害は少なかったものの、影響を受けられた企業様にはお見舞い申し上げます。

新年の風物詩「箱根駅伝」は今年で第102回大会を迎え、青山学院大学が3年連続で総合優勝しました。箱根駅伝の魅力は「襷をつなぐ」ことにあり、選手は仲間を思い「次の走者へより良い状態で襷を渡す」ために限界を超えて走ります。特に往路5区の山登りは難所であり、監督の戦略が勝敗を左右します。この大会のゴールは終わりではなく、次の世代へのスタートを意味します。

今日は「年次総会」があります。ロータリーも次年度への襷をしっかりと繋げます様、ご協力をお願いいたします。

◆パスト会長時間 三輪昌輝 2022-23年度会長

会長年度に驚いたのは、赫会員が入会年数が浅いにも関わらず、幹事と同時に副会長も引き受けて下さった事でした。例会では赫さんは幹事席、空いた副会長席には歴代のパスト会長に座って頂いて短いスピーチもお願いしました。当時はコロナ禍も収束に向かい、短縮例会から通常例会へ、握手タイムや交流事業の復活等、復活がテーマの1年でした。会長時間は、時事ネタの収集やセミナーやイベントへの参加等、ネタ探しに努力しました。長く話すとSAAにチャイムを鳴らされ、SAAの例会での力の強さを感じると同時に、身の引き締まる思いでした。



◆幹事報告 定秀陽介 幹事

◎東京調布RCより「地震見舞い」 ◎金谷GE事務所より「会長エレクト研修案内」「地区チーム研修案内」「次期G補佐会③案内」 ◎1月Rレート1\$=156円 ◎次週(1/20)は「休会」(定款)

◆理事会報告 定秀陽介 幹事

【議題】①財団オークション報告[審議]→承認 ②忘年家族会決算報告[審議]→承認 ③5RC合同例会次第(改)[報告]→了承 ④次年度理事・役員案[審議]→承認 ⑤2026-27年度GN候補者[審議]→出雲南RC原田明成氏を承認 ⑥チアフル鳥取のバドミントン教室[協議]→5/23(土)開催の方向で進める

⑦市民余芸大会 名義後援[報告]→了承 ⑧市民体育館竣工記念植樹(S55年)の楠の木について[審議]→・樹木の取り扱いは市に一任 ・記念プレートは何らかの形で残す方向で、会長と市で相談のうえ決定。

◆委員会報告

◎親睦委員会…谷田真基 委員長

— スマイルBOX —

◎結婚祝 定秀 ◎山戸様、本日はよろしくお祈りします。山崎、大平 ◎山戸様をお迎えして。卓話を楽しみにしています。泉、門脇、小藤、酒井(博)、庄司、谷田、赫、中田、浜田(貴)、北國、鷲澤 ◎パスト会長時間、頑張ります。三輪 ◎新年を迎えて。今年もよろしく。岡空 ◎早退します 小林 ◎スマイルに協力 喜多村、清水、平岡、松本(勝)

今年度計 478,000円(79.67%/目標60万円)

「5RC合同例会」2/3(火)18:30~ANAクラウン米子にて。5年前の当番年はコロナで中止した為、10年ぶりの境港RC主管開催。他クラブを歓迎する意味でも大勢のご参加をお願いします。

◎野球同好会…渡邊冬樹 キャプテン

今春の甲子園大会、できれば出場の方向で決めたいと思いますので、同好会メンバーは例会の後に残って下さい。

2025-26年度年次総会 議長：山崎慎也 会長

※出席者総数 49名中35名(1/3以上の定数を満たす)

下記の通り承認されました。

財務報告 定款の改定により総会内での中間報告はなし

第1号議案 会長エレクト(副会長)選出の件

2026-27年度会長エレクト(副会長) 堀田 収 会員

第2号議案 2026-27年度理事・役員選出の件

会長(理事) 浜田貴年 直前会長(理事) 山崎慎也

副会長(理事) 堀田 収 会員増強(理事) 三輪昌輝

幹事(理事) 上田康文 公共イメージ(理事) 定秀陽介

副幹事 福嶋法爾 奉仕プロジェクト(理事) 佐藤浩延

会計(理事) 瀬戸良三 R財団(理事) 赫 太郎

SAA(理事) 渡邊冬樹 (理事) 庄司尚史

副SAA 谷田真基 (理事) 中田耕治

会計監査役 小林 哲・川田一郎

— プログラム — 「地域の企業経営者様に 中小企業診断士やITコーディネータが貢献できること」

合同会社やまと 代表社員 山戸 昭三 氏

本講演は、地域の企業経営者に向けて、中小企業診断士およびITコーディネータがどのように貢献できるかを解説するものです。講師は、企業経営の「健康診断」に例えながら、中小企業診断士として無料の経営診断を提供し、経営戦略、営業・マーケティング、財務、人材、IT活用など多角的な視点から現状分析と改革シナリオを提示できることを紹介しています。診断では、経営者へのインタビューや財務データ分析を通じ、全体最適で一貫性のある提案を行い、診断報告書と資料を提供する点を強調しています。



さらにITコーディネータとしては、DX人材育成を目的としたITCケース研修やフォローアップ研修を通じ、経営戦略とITを結び付けたデジタル経営の実践力を高める支援を行うことを説明しています。教育訓練支援制度を活用することで、企業・受講者双方の負担を軽減しながら人材育成を進められる点も示され、地域企業の持続的成長への貢献が講演の主旨としてまとめられています。

今回(1月27日)プログラム

「航空業界と米子鬼太郎空港の今」

門脇 誠司 会員

次回(2月3日)プログラム

「第2グループ合同例会」境港RC主管

18:30~ ANAクラウン米子